

ゼン・マクロビオティクス（第4回）（新しき世界へ 1971年3月号）

米国版東洋医学

ゼン・マクロビオティクス(第四回)

ジョージ・オーサワ(桜沢如一)

村田鶴彦 訳

6 明敏な思考と行動力

本当の健康人であるなら、迅速、明敏な思考と行動力をそなえているものです。迅速とは、自由の表現であり、迅速、果敢にして、確定的であるということ、いつ、いかなる挑戦にも即応できるということが健康の要件です。このような人は、どんな場所にあっても物ごとを秩序だてていきます。動物や植物の世界にも、それぞれ整然とした秩序、マナーが観察されますが、宇宙の秩序をわきまえた人の表現・行為・作法が美しい、というのはそのためです。

健康、幸福、健全、清浄ということは、無限なる宇宙の秩序を、日常生活の中に翻訳し表現して見せる姿であり、神性、永遠、健康、生命…皆、同意語です。

7 正義感

サトリに達した、とは、正義というものを完全に会得した、ということです。正義=健康=最高判断力=一体性=無限=サトリ…は同意語であり、その人は、極東哲学の真髄を把握した人であります。自己採、点の55点に相当いたします。

あなたが、たとえ、まだ、この段階に達しないとしても、正義というものが、たんに、概念や理想として思惟されるだけのものでないという理解のもとに、自己採点で55点をとることは可能です。あなたが、積極的に正義の理解に努力し、その完全な把握へ一歩、一歩前進し、極東哲学の深遠な意義を身につける。それを目的として努力するならば、あなたに正義感があると云えます。

宇宙、自然の秩序にもとづく生活法、PU陰陽原理を応用し、実践しようとするのがとりもなおさず、正義の発露であり、それが生理的、心理的、精神的であるにせよ、全ての事象、日々の飲食、思考、判断、行為、表現、売買、読書、歩行、仕事の過程で、常に陰陽・秩序のはたらきを認識しようとする態度そのものが、正義感であります。

別言すれば、"一粒万倍"という生物学的法則に生きよ、ということです。全ての動物植物は、受けたものの万倍を返しています。土に投げられた一粒の穀物は、一万倍のモノとなって返ってきます。人間に養われた一匹のカイコは、数十、百万の卵と、1万ヤードの絹糸を返します。魚は数十億のタマゴを生みつけます。これを自然界の生物学的法則といいます。

あなたの親が、あなたに生を与え、十才まで育ててくれたとするなら、あなたは、親のめんどうを十倍、百倍、いや、無限にして返してあげなさい。親が去ったあとは、あなたの直接、間接行為で、他人の親のめんどうをみてあげなさい。これが、西洋では完全に誤解されている東洋のオン(恩)というものです。これは、ただ負債をかえすというようなものではありません。遙かそれ以上のもの、無限の自由と幸福をばらまく喜び、そのものの行為であります。

正義とは、一見、食事とは何の関係もない概念のように思われます。食事という実用性が、数千年の間、哲学の解釈の過程で、無益な抽、象的凝念によっておきかえられてしまいました。これが誤りの出発点になりました。食事というものは正義であり、正義は食事である。正義を知る、ということは、正食法にしたがうということです。自然、生命そのものの秩序にしたがった正食法に生きる、ということです。

自然は、私たちの身体に適当な食物を用意してくれています。ですから、私たちはそれを認識し、用いることによって、健康を維持することができます。これをマクロビオティクスといいます。私たちの飲食の中に自然の秩序を実現するということです。この秩序にしたがって生きるなら、当然、結果は健康であり、病気であります。まことに簡単、明瞭、実用的です。これが、正義というものです。

前記の健康七条件は、簡単なマクロビオティクの指導をしっかりと守る、ということなくしては実現することができません。これを実践することにより、あなたは他に頼ることなく、自らの生命、健康、幸福の創造者になることができます。自由、独立を獲得いたします。

病気というものは、生理的、心理的、道徳的であれ、五千年の東洋の知恵が生みだしたマクロビオティクによって治すことができます。

あなたは、これ以上簡単な、直接的、近代的治療法をご存じですか?他に実際、これ以上の方法があるかもしれませんが、私はそれを知りません。もし、あるなら、それについて教えてください。私は、それに従いましょう。私が、50年以上に亘り探究してきた生物学的、生理学的、宇宙論的健康法と平和への道を放棄して……。

第四章 信念は不可能を知りません

東洋の哲学は、無限界、即ち限りなき宇宙の広がり、秩序、構造を教えるための芸術であるといえます。それは人間自らが、自分のために自分の手で、自由、幸福、健康を実現するために宇宙の秩序、構造を理解するのを助けることを目的といたします。しかし、この東洋哲学の理論は、辯証法的、逆説的であって、深い理解力を必要といたします。私は、これを誰にも分るよう簡素化してみました。

東洋の全ての宗教は、この理論の生物学的生理学的応用を根底としています。ほとんど全ての宗教は、食事に関する厳しい作法を条件としています。食事の教えを守ることなくして、その宗教を理解し、力を身につけるということは不可能だ、という事実を、大半の

西洋の神学者たちは見落しています。

仏教、特に禅宗では食の定めを厳しく守ることを宗旨としています。しかし、禅宗や印度哲学についてかかれた西洋の書物では、この生物学的、生理学的基盤の重要性、優越性というものを十分説明していません。したがって、ヴェダンタ、老子、仏教などの哲学が、西洋で十分理解されていない、という事実も当然でありましょう。

もし芥種一粒ほどの信仰あらば、この山に「ここより、かしこに移れ」と云うとも移らん、かくて、汝ら、能はぬこと、無かるべし

もし、あなたに、まことの「信」があるなら、不可能なことはありません。もし不可能なことがあるとすれば、あなたに芥種の粒ほどの「信」がないということです。罪悪、敵対、貧困、戦争、加えて、いわゆる不治の病気などというものは、すべて、信の欠如しているためにおこるものです。

幸・不幸というものは、私たちの行為の結果であり、行為は判断力に依存し、「信」は判断のよって来る基礎、源泉です。

ここで、二種の判断というものを混同しないよう注意しなければなりません。一つは、「信」にもとづく判断、他は「信」にもとづかない、相対の、さまざまな判断です。もしあなたの判断が失敗するとすれば後者であり、芥種の粒ほどの「信」を基盤としない判断であるということです。

無限の宇宙の秩序を知らなければ「信」が湧いてまいりません。あなたが、ただ人間のつくった法律、力、知識、科学、金銭、薬品にのみ信をおくなら、あなたは、無限ならぬ、相対の浮き世にのみ「信」をおいて生きているということです。全て相対界の判断というものは、一時的、つかの間のモノであります。私たちは、永遠の創造者である無限宇宙の構造を学びとらねばなりません。

そのためにこそ、私は、東洋哲学の通訳として48年間を費しました。そのためにこそ私は、この案内書を計画いたしました。この案内は、鳥、魚、虫、細菌や、全ての草木のように、完全な満足感と、病気や、老いや、死の恐怖を知らない、まことの健康、自由、幸福の国へのパス・ポートであります。

十日間でもよろしい、このパス・ポートを利用して見て下さい。もし、あなたが、私たちの実用哲学を実行することによって、幸福、健康、独立を身につけたいと決心するのでしたら、いつ、どこでもよろしい、**Faith** という名の電話を通じて私と連絡をとって下さい。無限という生命の世界では、人は、全てを、自分のために、自分の手で学ぶべきであります。大学も、学校もありません。無限の世界そのものが永遠の学校であります。専門の教師というものはありません。全てのモノ、全ての人や昼も夜も、全てを教師として学ぶことです。強力な、残酷な敵の存在も大変有益なものであります。もしそのような敵が存在しなければ、こちらは、怠惰な、ひ弱な、おろかなものになってしまうでしょう。

本文の複写、複製、転載、その他いかなる方法による使用の際には日本 CI 協会にご相談ください